

2019. 5. 11.

佐鳴台協働センター

佐鳴台地区社会福祉協議会

総会資料

次 第

- | | |
|---------------------------|---|
| 1. 開会のことば | 八 木 副 会 長 |
| 2. あいさつ | 橋 本 会 長
浜 松 市 中 区 長
鈴 木 政 彦 様
浜 松 地 区 セ ン タ ー 長
石 川 淳 様 |
| 3. 議 事 | |
| (1) 第1号議案 平成30年度事業報告 | |
| (2) 第2号議案 平成30年度会計報告 | |
| (3) 第3号議案 令和元年度役員を選任並びに組織 | |
| (4) 第4号議案 令和元年度事業計画案 | |
| (5) 第5号議案 令和元年度予算案 | |
| (6) 高齢者相談センターについて | 中 村 所 長 様 |
| 4. 閉会のことば | 嶋 津 副 会 長 |

第1号議案 平成30年度 事業報告書

1. 広報事業 (加算補助事業)					
事業内容	<input type="checkbox"/> 地区社協だよりの発行				
	発行回数	30回	発行部数	26,000部	
	<input type="checkbox"/> ホームページ 「佐鳴の輪」				
2. 福祉啓発事業 (加算補助事業)					
事業名	「老いてますます元気」第11章 ・ 健康長寿講座				
日時 (開催期間)	31年2月9日 30年6月14日～ 30年9月13日	会場	佐鳴台協働センター 県住集会所	参加者数 (実績)	200名
内容	<p>「老いてますます元気」講座として認知症予防講座を脳リハビリネットワークの協力により毎日記録するノートを使いながら指導していただいた。大変好評で他地区からの問い合わせもあった。</p> <p>また、県営住宅の高齢者を対象にして昨年好評であった「健康長寿講座」を県のふじ33プログラムにお願いし、健康長寿を維持するために必要な運動、食事、社会参加などを3か月間実践・調査をしてきた。みなさん継続することの大切さを学んだ。</p>				
3. 地域交流、連携事業 (加算補助事業)					
事業名	昔の歌を元気よく仲良く歌おう会・地域交流グランドゴルフ大会・輪投げ・ペタンク大会				
日時 (開催期間)	30年6月26日、12月2日、31年3月12日 30年5月28日、11月12日、31年3月30日 年間7回	会場	佐鳴台協働センター 佐鳴台小学校 佐鳴台協働センター 佐鳴台地区3公園	参加者数 (実績)	400名
内容	<p>「歌おう会」ではみんな楽しく元気よく明るく歌っていた。身障者も数名の参加があり、社協の広がりを感じた。</p> <p>「グラウンドゴルフ」は参加者を適当なグループに分けたのがよく、他町との交流が図れた。</p> <p>「輪投げ・ペタンク」は、みなで和気あいあいと楽しめた。ペタンクは、来年度の居場所づくりとしてサロン活動に加える。(対象は地域の高齢者)</p>				
4. ボランティア活動推進事業 (加算補助事業)					
事業名	ボランティア講習会への参加				
日時 (開催期間)	30年4月1日～ 31年3月31日	会場	交流センター他	参加者数 (実績)	70名
内容	ボランティアの講習会・勉強会・指導者講習会へ参加した。特に新総合事業の研修会に自治会長さんたちが参加してくれた。サロン活動やシニアクラブの活動がこの事業に繋がっていくと思われる。ボランティアで地区社協の活動などに参加してくれているボランティアの姿が地域のボランティア活動のPRにもなっている。				
5. 安全・安心推進事業 (加算補助事業)					
事業名	「健康教室」 「男の料理」 「登校指導」と「あいさつ運動」				
日時 (開催期間)	30年5月19日、6月25日、12月25日 31年3月1、8、15、22日 毎月第1月曜日	会場	佐鳴台協働センター 佐鳴台協働センター 地域内	参加者数 (実績)	400名
内容	「動く水は腐らない」と「転ばぬ先の杖」をモットーに10回の健康教室を開催した。五体・五感を働かすことの意義を理解し、それを日常の生活の中に生かし、年齢と共にゆっくり、気楽な、拘らない、安心して生活できるよう健康教室を開催した。生活の中での笑いの大切さ、				

	脳活ゲームの製作とゲーム実践など認知症予防に絞ってみた。				
6. 子育て支援・障害者支援事業（加算補助事業）					
事業名	ボランティアグループ「さくらんぼ」の未就園児子育てサロン活動・読み聞かせ講座				
日時 (開催期間)	30年4月1日～ 31年3月31日 月1回	会場	佐鳴台協働センター	参加者数 (実績)	240名
内容	未就園児を対象として、子育てボランティア7名で未就園児と親を対象にして、読み聞かせをはじめいろいろな企画をし、子育て支援をしてきた。 「読み聞かせ講座」で驚いたことは、参加者が外国国籍の親子だけであった。地域に外国の方が住んでいることは認識していたが、これからはさらに気を配らねえといけなと反省しきり。来年度は、日本で働いている外国人の家族や障害を持っている人のことを考えていきたい。				
7. 福祉ニーズ調査事業					
事業内容	<p>敬老会、新春を寿ぐ昼食会、お花見会などの高齢者を対象とした催しものの案内状は、各自治会にお願いし、自治会役員や担当の民生委員が対象の一人一人に案内状を届けながらご機嫌伺いをしながら困っていることや要望などを聞いているが、なかなか本音が出てこない。</p> <p>ところが、要望などがよく出てくるのが、サロン活動とかシニアクラブでの活動中に本音が出てきている。これは人間関係ができていからであろう。この人間関係をうまく作るには、「居場所づくり」をできるだけもうけることであろう。こうした中から伺えるのは、「子どもが遠くにいてこれからの老後が心配だ。」心の面と物の面との両面の不安がある。新総合事業への期待が大きさが伝わってくる。居場所づくりを増やしていきたい。</p>				
8. ボランティアコーナー運営事業					
事業内容	<p>毎週水曜日の9時から11時まで電話での「ふれあいサービスの受付」及び「何でも相談」を受け付けている。また、3カ月に一回専門カウンセラーによる相談日を午後設けている。毎回2名ほどの来談者があり、たいへんありがたかった、よかったという言葉が返っている。なお、このコーナーは自治会、民児協、子ども会、PTA、サロン活動などに使われている。</p> <p>「佐鳴の輪」の編集、社協の事務、雑務などもここで行っている。</p> <p>ふれあい支援は、70件の依頼がり、無事終了。</p>				
9. その他（地域交流事業）					
事業名	長寿を祝うお花見会				
日時 (開催期間)	31年3月31日	会場	佐鳴湖東岸	参加者数 (実績)	400名
事業内容	自治会長のもとに「タイミングがずれたり、お金を使うだけで、もったいないからそろそろ長寿を祝うお花見会はもう止めたら」という言葉が聞かれるようになって、本年度から中止しようということに総会で中止することになった。ところが、中止の知らせを回覧すると、今度は逆に自治会長や役員のもとに「地区の運動会も止めてしまったからお花見会は是非やってほしい」との要望が多く再開することになった。花は二分咲きであったが、抽選会などで盛り上がった。				
10. その他（安全安心事業）					
事業名	独居高齢者訪問				
日時 (開催期間)	30年7、8月12月	会場	佐鳴台地区内	参加者数 (実績)	50名
内容	敬老会、新春を寿ぐ会の案内状を届けながらご機嫌伺いをした。その際、問題があれば関係機関と連絡を取ってきた。このことは人間関係をつくる上で大変効果的である。				
11. その他					
事業名	サロン活動				
日時 (開催期間)	各サロン6回から24回	会場	地域内	参加者数 (実績)	1,200
内容	おしゃべり、歌唱、カラオケ、ゲーム、五七五、子育て、+ 談話など				

第2号議案

平成30年度佐鳴台地区社会福祉協議会決算報告

収入の部

単位:円

科 目	30年度予算額	30年度決算額	増 減	説 明
市社協補助金	106,330	104,750	-1,580	運営費補助金
市社協補助金	300,000	248,000	-52,000	地区社協推進事業(基本補助)
市社協補助金	146,000	146,000	0	地区社協推進事業(加算補助)
市社協補助金	100,000	100,000	0	サロン活動支援事業
市社協補助金	20,000	20,000	0	たすけあい支援事業(基本補助)
	4800	14,000	9,200	ふれあい支援補助金 200円×24回
市社協補助金	300,000	300,000	0	歳末福祉事業
市補助金	0	0	0	29年度より市社協基本補助へ
連合会補助金	240,000	240,000	0	佐鳴台地区自治会連合会補助金
連合会補助金	0	195,000	195,000	佐鳴台地区自治会連合会補助金お花見会
その他の収入	3	5	2	預金利息
繰越金	386,631	386,631	0	前年度繰越金
合 計	1,603,764	1,754,386	150,622	

支出の部

単位:円

科 目	30年度予算額	30年度決算	増 減	説 明
事務費	150,000	102,889	-47,111	電話代31,088、通信費等50,328、事務費21,473
広報費	180,000	130,504	-49,496	佐鳴台協働センター等印刷代130,504
活動費	1,105,000	1,093,253	-11,747	花見会26万、三世代交流餅つき大会10万、新春を寿ぐ昼食会20万、サロン活動18万、研修費4万、講演会等謝金12万、
備品費	100,000	48,260	-51,740	ペタンク等48,260
予備費	68,764	7,000	-61,764	市社協会費
小 計	1,603,764	1,381,906	-221,858	
繰越金	0	372,480	372,480	次年度への繰越金
合 計	1,603,764	1,754,386	150,622	

科目間の流用は認める。

平成30年度収入 - 支出 1,754,386円 - 1,381,906円 = 372,480円

平成31年4月7日 佐鳴台地区社会福祉協議会会長 橋本博行

会計 笠原祥光

平成31年4月7日 関係書類を精査し、適正に処理されていることを報告します。

佐鳴台地区社会福祉協議会監事 神村益弘

監事 鈴木儀雄

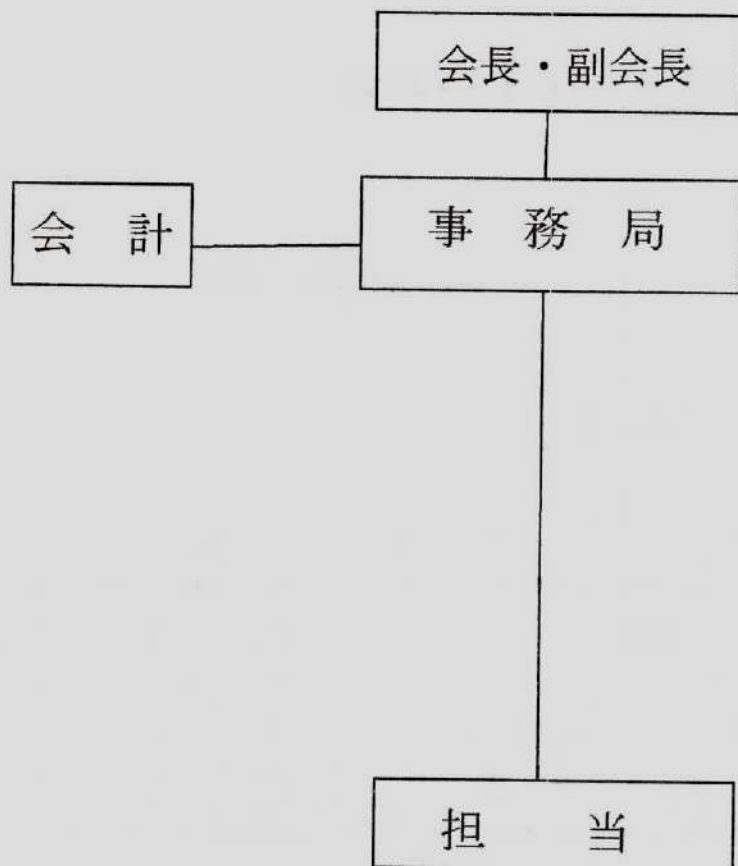
NO	役職名	氏名	所属団体
1	相談役	鈴木陽子	佐鳴台小学校長
2	相談役	中根信一	佐鳴台中学校長
3	相談役	平澤啓樹	佐鳴台協働センター長
4	相談役	井筒博実	佐鳴台交番長
5	相談役	中条操	元自治会連合会会長 一丁目老人クラブ会長 地域安全推進員
6	会長	橋本博行	自治会連合会会長 県住自治会長 民生・児童委員
7	副会長	八木利由喜	六丁目自治会長
8	副会長	嶋津歌絵	民生・児童委員会会長 五丁目副会長
9	会計	笠原祥充	民生・児童委員
10	事務局	織田晴義	元地区社協会長 三丁目老人クラブ会長
11	事務局		
12	監事	神村益弘	五丁目自治会長
13	監事	鈴木儀雄	四丁目自治会長
14	企画委員	大石文男	一丁目自治会長
15	企画委員	加藤瞭造	二丁目自治会長
16	企画委員	大塚幸作	三丁目自治会長
17	企画委員	中村つぎ子	ヘルスポランティア大地
18	企画委員	松田守弘	佐鳴の輪編集
19	企画委員	山口かおる	民生・児童委員 子育て支援グループ
20	企画委員	大屋久美子	主任児童委員
21	委員	唐木定義	一丁目副自治会長
22	委員	大谷建二	二丁目副自治会長
23	委員	市川隆義	三丁目副自治会
24	委員	袴田紘八	県住副自治会長
25	委員	高見安昭	四丁目副自治会長
26	委員	鈴木荘平	六丁目副自治会長
27	委員	竹内俊子	民生児童委員
28	委員	森永雅純	民生・児童委員

NO	役職名	氏名	所属団体
29	委員	高柳光雄	民生・児童委員 二丁目老人クラブ会長
30	委員	高柳康広	民生・児童委員
31	委員	岩上京子	民生・児童委員
32	委員	川崎明美	民生・児童委員
33	委員	岡崎喜和子	民生・児童委員
34	委員	豊田嘉代子	民生・児童委員
35	委員	高松麻里	民生・児童委員
36	委員	小野寺信子	民生・児童委員
37	委員	上口万鶴	民生・児童委員
38	委員	竹村裕美	民生・児童委員
39	委員	交	主任児童委員
40	委員	原田健一郎	佐鳴台商店街繁栄会長
41	委員	菊地原敦史	小学校 PTA 会長
42	委員	堀江博道	中学校 PTA 会長
43	委員	花谷雅史	体育振興会長
44	委員	久野惇美	県住老人クラブ会長
45	委員	織田晴義	三丁目老人クラブ会長
46	委員	休	四丁目老人クラブ会長
47	委員	加藤信砂子	子ども会連合会長
48	委員	鈴木成欣	佐鳴台小学校校医
49	委員	高平健一郎	佐鳴台中学校校医

佐鳴台地区社会福祉協議会組織(案)



	事業内容	場 所	担 当
1. 広報事業	社協だより全世帯 社協だより回覧 ホームページ	ふれあいコーナー " "	佐 鳴 の 輪 担 当 者 佐 鳴 の 輪
2. 福祉啓発事業	講 演 会 施 設 見 学	協働センター 特 養 な ど	事 務 局 民 児 協
3. 地域交流・連携事業	三世代交流餅つき 大 会 長寿を祝う新年会 サ ロ ン 活 動 敬 老 会 長寿を祝う花見会	協働センター 協働センター 県 住 集 会 所 各 会 場 佐鳴台小体育館 佐 鳴 湖 東 岸	協働センター・子 ども会・老人クラ ブ 連合会・事務局・ 民児協 各 担 当 連合会・民児協 連合会・事務局
4. ボランティア活動推進事業	ボランティア活動 育成講座・研修	協働センター他	事 務 局
5. 安心推進事業	相 談 活 動 ふれあい支援 登 校 指 導 健 康 教 室 歌 お う 会	ふれあいコーナー " 地 区 内 協働センター 協働センター	民 児 協 " 地域安全推進員 民児協・事務局 サ ロ ン 活 動
6. 子育て支援・障がい者支援事業	昔 の 遊 び 子 育 て 支 援 学 習 指 導	協働センター " "	老 人 ク ラ ブ さくらんぼ広場 三 丁 目 有 志
7. その他	高 齢 者 調 査	ふれあいコーナー	連合会・民児協



1. 計画・予算請求
2. 社協だよりチラシ作製。 月末までに印刷完了。
自治会ボックスへ。 5日自治会回覧へ。
3. 実施
4. 記録と帳簿

第4号議案 令和元年度佐鳴台地区社会福祉協議会事業計画(案)

事業名	実施月	活動内容
啓 総会		◎ 佐鳴台協働センターホールで開催する。
交 昔の歌を元気で楽しく歌おう会	6, 10, 2	◎ 昔の歌をみんなで元気よく楽しく歌おう！をモットーに引き込みがちな方などを社協役員に声掛けをしてもらい、輪(和)をできるだけ広げていきたい。講師はすでに施設などで活動している方を依頼してある。昔の歌に因んだ談話も楽しんでもらう。 引きこもりの方を誘おう！
交 グラウンドゴルフ大会	6, 10, 3	◎ 社協会長杯グラウンドゴルフ大会を体育振興会の協力を得て開催する。 体振との連携を密に！
安 独居高齢者等調査	7, 8, 12	◎ 自治会または民生・児童委員で敬老会対象者、新春を寿ぐ会対象者、長寿を祝うお花見会対象者に「ご機嫌伺い」を兼ね案内状を届ける。
交 社協輪投げ大会	11, 2	◎ だれでも気軽に参加して楽しめる輪投げ大会をめざす。 引きこもりがちな方を勧誘する！ どこでも気軽にできるから地域高齢者の居場所づくりとして広めていきたい。
啓 地域のニーズ調査	8, 12	◎ 敬老会、新春を寿ぐ昼食会の案内状を届けながらご機嫌伺いをしつつ要望などあれば聞いて、集約する。
交 敬老会	9	◎ 佐鳴台小学校で自治会連合会と共催する。1部と2部に分け、2部では小学校金管バンド、中学校吹奏楽部、演芸等を楽しんでもらう。中学生のボランティアに期待。
子 昔の遊び	10, 12	◎ 協働センターの「ふるさとまつり」「三世代交流餅つき大会」の一環として子どもたちと年寄りの世代間交流を図る「昔の遊び」を開催する。(また小学校への講師派遣も)
交 世代間交流事業「餅つき大会と輪投げ大会」	12	◎ 協働センターで子どもに餅つきと輪投げ大会、昔の遊びを体験させることを目的とし、子ども会、子ども会の親、老人クラブと三世代の交流を図る。中学生のボランティ

		アとの交流も。(歳末福祉事業補助金)
交	新春を寿ぐ昼食会	1
		◎ ひとり暮らしの後期高齢者を招き、自治会長、民生・児童委員、ボランティアとともに昼食を楽しむ。また、余興も楽しんでもらう。(歳末福祉事業補助金) 1・2・3丁目 協働センター 県住 県住集会所 4・5・6丁目 協働センター ※送迎方法の工夫をする。人数が増えた場合ホールを借りるか。グループ編成の工夫をする。
啓	講演会	2
		◎ 「老いてますます元気講座第12章」
安	男性の為の料理教室	3
		◎ 高齢を迎える男性の将来的な食生活の不安解消のためと脳の活性化のために料理教室を開催する。(予算調整)
交	健康と長寿を祝うお花見会	3
		◎ 70歳以上の住民の健康と長寿を祝うお花見会を実施する。昼食とお楽しみ抽選会(自治会・社協)を楽しんでもらう。 3月29日(日) 佐鳴湖東岸
交	サロン活動	毎月
		◎ ヘルスボランティア大地のおしゃべりサロン(6回) ◎ 1丁目サロン(12回)「楽器に合わせて」 ◎ 県住サロン(10回)「みんなで楽しく歌おう会」 ◎ 2丁目サロン(12回)「みんなで楽しくおしゃべりとゲーム」 ◎ 何でもかんでも五七五サロン(12回)「何でもかんでも五七五で脳の活性化」 ◎ 子育てサロンさくらんぼ広場(10回)「未就学児・親の支援」 ◎ カラオケサロン(24回) ◎ ペタンククラブ(12回) ◎ サロンのないところにサロンを!
安	健康教室	年間7回
		◎ 第1回「笑いヨガ」(浜松笑いヨガ知ちゃん先生) ◎ 第2回「健康相談」(保健所) ◎ 第3回「認知症予防と相談」(施設指導員) ◎ 第4回「健康相談」(保健所・対象県住) ◎ 第5回「脳活ゲームで脳力アップ」(シニア) ◎ 第6回「バランスの良い食生活」(管理栄養士) ◎ 第7回「危険箇所点検ウォーキング」

子	読み聞かせ講座	8	◎ 読み聞かせ (対象外国人の親子)
安	相談日	毎週水曜日 午前中	◎ なんでも相談。関係機関との連携を密にする。また、気軽におしゃべりできる場とする。なお、専門家による相談会も年数回実施する。
安	ふれあいサービス	毎週水曜日 午前中 6 随時	◎ 電話で受付、ボランティアへ連絡する。対応については民児協がコーディネートする。 ◎ ふれあいサービスのボランティアを募集し、市社協に講師をお願いする。 ◎ ボランティアに講習会へ参加してもらう。
子	登校指導	毎月月曜日	◎ 学校教育と地域住民とでのあいさつ運動を兼ねた登校指導の実施。(地域安全推進員の保険の対象)
安	交通安全と防犯講座	年1回	◎ 高齢者のオレオレ詐欺などの被害を食い止める上で日頃の心得を事例をあげて話してもらう。(浜松中央署)
広	地区社協だよりの発行	随時	◎ 各戸配布、回覧、ホームページで地区社協の活動状況や福祉に関する情報を流すとともに地域福祉の啓発をする。(活動の記録の保存) ◎ 「佐鳴の輪」
研	ボランティアグループの発掘	随時	◎ ふれあいボランティアの若返り。地区内のボランティアを発掘し、そして継続的な育成と支援をする。
研	研修会	随時	◎ 社会福祉活動の理解を深めるため特にボランティア研修会への参加、実践につながるようにする。また、社会福祉に関する講演会に参加する。さらに新総合事業についてはこれからの高齢者福祉の課題が分かるので団塊の世代の参加を呼び掛ける。 ◎ 施設の見学。
その他		11	◎ 必要に応じ企画委員会で検討する。

第 5 号 議 案 令 和 元 年 度 事 予 算 案

《収入》

(単位：円)

科 目	元年予算額	30年予算額	増 減	説 明
市社協補助金	102,560	106,330	-3,770	運営費補助金
市社協補助金	250,000	300,000	-50,000	地区社協推進事業（基本補助）
市社協補助金	143,000	146,000	-3,000	地区社協推進事業（加算補助）
市社協補助金	160,000	100,000	60,000	サロン活動支援事業
市社協補助金	20,000 30,000	20,000 4,800	25,200	たすけあい支援事業（基本補助） ふれあい支援補助金¥200X150回
市社協補助金	300,000	300,000	0	歳末福祉事業
連合会補助金	440,000	240,000	200,000	自治会連合会補助金（お花見会20万）
その他の収入	3	3	0	利息
繰越金	372,480	386,631	-14,151	
合 計	1,818,043	1,603,764	214,279	

《支出》

単位：円)

科 目	元年予算額	30年予算額	増 減	説 明
事務費	180,000	150,000	30,000	電話代3万、通信費5万、事務用品10万
広報費	150,000	180,000	-30,000	社協だより外部印刷10万、自己印刷5万
活動費	1,270,000	1,105,000	165,000	三世代交流餅つき10万、新春を寿ぐ会21万、サロン活動20万、研修費5万、講演会3万、歌おう会3万、活動保険料5万、健康教室4万、講座3万、他講座2万、男の料理5万、協働センターまつり3万、施設見学8万、その他の活動（グラウンドゴルフ・輪投げ大会など）5万、お花見会30万
備品費	100,000	100,000	0	ペタンク用具など
予備費	118,043	68,764	49,279	
繰越金	0	0	0	
合 計	1,818,043	1,603,764	214,279	